

要綱第3号様式

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都市長		平成27年7月28日					
報告者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 〒107-0052 東京都港区赤坂3-2-3		報告者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) アパホテル株式会社 代表取締役 元谷 美美子 電話 03-3505-8200					
主たる業種	旅館、ホテル				細分類番号	7 5 1 1	
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> ア 京都市地球温暖化対策条例第2条第1項第6号 <input type="checkbox"/> イ又はウ <input type="checkbox"/> エ						
計画期間	平成26年4月から平成29年3月まで						
基本方針	基準年度に対し、温室効果ガス排出量を5%以上削減する。						
計画を推進するための体制	省エネ法におけるエネルギー管理統括者、管理企画推進者のほか本社を中心に、エネルギー削減となる改修、ソフト面の施策を実行管理する。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (23~25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	3,201.1 トン	3,210.7 トン			0.3 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	3,200.4 トン	3,210.7 トン			0.3 パーセント	
	実績に対する自己評価	利用客数の増に伴い、排出量増につながっていると思われる。ただし、省エネを行っているからこそ、この数字で納まっていると考える。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	増減率
	ホテル	事業活動に伴う排出の量 (客室数(1,000室))	3.20	3.20			0.00 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ()					パーセント
	実績に対する自己評価	引き続き省エネ意識を持って取り組み、排出量削減に努めていく必要がある。					
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	備考	
		53.0 パーセント	53.0 パーセント				
具体的な取組及び措置の内容	(26)年度	照明器具のLED化を実施。					
	(27)年度						
	(28)年度						
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	社員は、基本マイカー通勤を禁止し、公共交通機関の利用を推奨。					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	マイカー通勤は無く、公共交通機関利用により、通勤時の温室効果ガスの抑制に努めることが出来た。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン					
	地域産木材の利用によるもの	0.0 トン					
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン					
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン					
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの	0.0 トン					
合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	環境省が推進するエコ・アクション・ポイントプログラムに「アパ・エコアクション」として平成23年より参加し、引き続き継続中						
特記事項	ホテルの利用人数が増加したため、エネルギー使用量の数値は削減に至らなかった。ただし、照明のLED化を始め、省エネ意識により微増という結果となったと思われる。						

- 注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。